

パブリックコメントによる意見に対する対応一覧表

番号	ページ	項目名	意見の概要	担当部署の考え方	素案の修正の有無	修正する場合の修正後の文面	回答課
1			島しょ部は人口減少、高齢化が顕著ですが、住み慣れた島で暮らし続けるために様々な取り組みを行っていますので、総合計画にも必要な施策の記載が必要だと思います。	ご意見のとおり、必要な内容を記載します。	有	<p>2-(2)-③「地域コミュニティの充実と広域連携の推進」に追記</p> <p>〈現状と課題〉 特に島しょ部では令和7年3月までの10年間で人口が約800人減少し、高齢化率も約12%上昇するなど、人口減少、高齢化が顕著で、集落維持が困難な地域もあります。</p> <p>〈対応の方向性〉 住み慣れた環境で生活するために必要な基盤を維持するとともに、福祉、介護、医療等の公共サービスの提供や移動手段の確保を図ります。また、集落維持が困難な地域は、必要に応じて外部人材の活用を支援します。</p> <p>〈主な施策〉 地域の実情に応じた取り組みを支援します。</p>	企画政策課
2			地場産業については高齢化や人口減少も進み、後継者不足の声を耳にすることが増えた。 事業継承についてはこれまで補助金を使う実績が少なかったことから補助金廃止となつたが、身を結ぶ方策を練っていただきたい。 地域おこし協力隊と結びつけて次世代を育てている市町もある。	事業承継については、週1回、市企業コーディネーターが笠岡商工会議所職員と合同で、市内の事業所を巡回し、支援施策の活用促進等に取り組んでおります。また、事業者の相談窓口等を実施する岡山県よろず支援拠点との連携や、本市ホームページにおける事業承継に関する公的な相談窓口の紹介等を通じて、引き続き関係機関との協力、連携等を推進してまいります。御意見いただいた内容については、他自治体の事例を研究してまいります。	無	—	商工観光課

パブリックコメントによる意見に対する対応一覧表

番号	ページ	項目名	意見の概要	担当部署の考え方	素案の修正の有無	修正する場合の修正後の文面	回答課
3	26 27	地場産業の育成と事業承継	小規模な事業所が多い笠岡市だが、単独でできないことが繋がることでできることもあるのではないか。 情報発信や、6次産業化、ブランド化など工夫の余地があるように思う。 宮崎県の都城市のHPでは地場産品を紹介、販売サイトに誘導するページがあつたりと市を挙げて地場産業を応援している。 本計画の主な施策にも明記があるので期待している。 また、笠岡の高校もタッグを組み商品開発、販売をしたりと新しい風を吹かせてくれているので、引き続き盛り上げていってほしい。	本市ホームページにおいて、地元中小企業に関する情報を発信しております。情報発信について、他自治体の取組や事例を参考に研究してまいります。 また、市内の高校と連携した、新たな商品開発や販売等についても、本市を盛り上げるために、引き続き取り組んでまいります。	無	—	商工観光課 農政水産課
4			遊休農地や耕作放棄地についての課題が挙げられているが、主な施策に具体的がないが、農地の保全に集約されているのか。 また干拓地の更なる活性化もお願いしたい。	ご意見を踏まえ、農地保全等の地域の共同活動への支援について、耕作放棄地等の課題解決に向けた施策とする表現に修正し、方向性を明確化しました。 また、干拓地農業については、担い手となる農業者を確保することで、離農者の農地が担い手へスムーズに集約されるよう利用調整に努めます。	有	◇耕作放棄地等の発生を防ぐため、農地の保全及び農業用施設の維持管理などの地域の共同活動を支援します。	農政水産課
5			人や車の多く通る場所でも夜間にイノシシなどを目撲することが増えてきた。有害鳥獣対策が更に必要と考える。	市街地におけるイノシシ対策については、専門組織である「笠岡市鳥獣被害対策実施隊」を中心とし、捕獲等の対策に取り組んでまいります。	無		農政水産課
6			水産資源の増殖を図るための施策のところに「ネイチャーポジティブ」というワードを加えられてはいかがか。 また7次計画に達成目標で入っていた「寺間遊水池のCOD」を指標として入れなくて良いか。（こちらか、2-2-1快適な生活環境を守る）	水産資源の保護・回復については「ネイチャーポジティブ」の考え方も重要であると認識しております。そのため、その趣旨を踏まえた表現を計画文中に反映しました。 「寺間遊水池のCOD」については、本施策の中では間接的な要因と考えており、よりわかりやすく直接的な指標として漁獲量をKPIとしました。また、2-(2)-①においても、寺間遊水池という限定的な要因ではなく、全体的な環境指標として「海域・河川及び大気汚染に係る環境適合率」をKPIとしております。干拓地（寺間遊水池）の水質対策については、今後も改善に向けて取り組んでまいります。	有	漁業資源の保護、回復には、「ネイチャーポジティブ（自然再興）」の考え方も踏まえながら、アマモ場の育成の場となる環境の保全や整備を行い、また保全活動を継続して漁獲量を安定化させることが重要です。	農政水産課 (環境課)

パブリックコメントによる意見に対する対応一覧表

番号	ページ	項目名	意見の概要	担当部署の考え方	素案の修正の有無	修正する場合の修正後の文面	回答課
7	28 29	地域の資源を活用した観光振興	映画のロケ地となることも笠岡市。観光客を呼び込むチャンス、地場産品などの情報発信・販売のチャンスと捉え、利用すべきかと思う。映画撮影を観光に活かす「ロケツーリズム」を官民連携で盛り上げて欲しい。	映画のロケは、本市の魅力を発信できる有効な機会であると認識しています。笠岡市観光協会等と連携し、ロケ誘致や撮影支援にとどまらず、地場産品のPRや市内周遊を促進させる「ロケツーリズム」の実施も今後検討し、観光振興につなげていきたいと考えています。	有	◇笠岡市観光協会等との連携による、本市最大の観光スポットである道の駅笠岡ベイファームを拠点とした、市内周遊を促すツアー造成や映画ロケ地を観光資源として活用する「ロケツーリズム」を推進します。	商工観光課
8	32	健康づくりの推進	関係課名に「学校教育課」「スポーツ推進課」を加える必要はないか。	こどもから高齢者までの健康づくりの推進に当たっては、健康推進課や子育て支援課が中心となり、府内17部署の関係課で構成されたプロジェクトチームで、第3期笠岡市健康づくり計画の進捗管理や取組の協議を行っているところです。ご意見のとおり、児童生徒の健やかな育ちや食育を含めた健康づくりを進めていく上では、「学校教育課」「学校給食センター」、身体活動・運動の推進の、特に運動の一部については「スポーツ推進課」が健康づくりの視点も持つて取組を進めています。しかし、関わりのある課が非常に多いため、ここでは健康づくりの推進を中心で行っている課名のみの掲載いたします。	無	—	健康推進課 (学校教育課) (スポーツ推進課)
9	44 45	魅力的なまちづくりと定住促進	新たな住宅用地の確保不足については長年笠岡市が抱えている課題と捉えている。 また賃貸の家賃についても他市町に比べ少し高く感じる。 住み続けられる居住環境の充実について対策を講じる必要性があると思う。	ご意見のとおり、住宅用地の不足は本市の課題であり、都市機能及び居住機能の集積が十分ではないことからも、人口減少に歯止めがかかっていない状況です。いただいたご意見を踏まえながら、居住誘導区域の住環境やまちの魅力の向上に取り組むことで、快適に住み続けられるまちづくりを進めてまいりたいと考えています。	無	—	都市計画課
10			「不登校」というワードも出てくるので、関係課名に学校教育課も加える必要はないか。	ご意見のとおり、必要な内容を記載します。	有	関係課名に学校教育課を加える。	子育て支援課 (学校教育課)

パブリックコメントによる意見に対する対応一覧表

番号	ページ	項目名	意見の概要	担当部署の考え方	素案の修正の有無	修正する場合の修正後の文面	回答課
11	60 61	安心して子育てをするための家庭支援	60ページの上から4つ目・6つ目の現状と課題・対応の方向性61ページの主な施策の下2施策はP62からに入るべき内容では？	こどもに関する3項目の施策内容については、以下の基準により振り分けています。 「3-(1)-①すべてのこどもの成長を支える環境づくり」 →保育施策に係る事業 「3-(1)-②安心して子育てをするための家庭支援」 →母子保健及び児童福祉に関する事業 「3-(1)-③子育てを地域で見守り支えあうまちづくり」 →上記以外の子育て支援事業	無	—	子育て支援課
12	62	子育てを地域で見守り支えあうまちづくり	現状と課題・対応の方向性の1段目、4段目、5段目、6段目、63ページの3つ目以降は60ページに入るべき内容では？ また施策に対する成果の育児休業給付金・・・もこのページには適さないものではないか。	こどもに関する3項目の施策内容については、以下の基準により振り分けています。 「3-(1)-①すべてのこどもの成長を支える環境づくり」 →保育施策に係る事業 「3-(1)-②安心して子育てをするための家庭支援」 →母子保健及び児童福祉に関する事業 「3-(1)-③子育てを地域で見守り支えあうまちづくり」 →上記以外の子育て支援事業 また、地域の一員である市内企業の協力の下、子育てと仕事が両立できるような職場環境づくりを支援する意図で、その成果指標として計測可能な「育児休業給付金受給資格確認件数」を掲載しています。	無	—	子育て支援課 商工観光課
13	66		「日常生活の中で文化的活動に取り組むが少なくなっています。」→「日常生活の中で文化的活動に取り組むことが」もしくは「機会が」に直しますか。	ご指摘ありました当該箇所につきましては、右のとおりの表現に修正します。	有	日常生活の中で文化的活動に取り組む人が少なくなっています。また、文化事業への参加者や来場者の減少も見られます。	生涯学習課
14	67	文化・芸術の振興と探求	「ネイチャーポジティブ」といった表現を追加すべきでは。	「ネイチャーポジティブ」につきましては、自然の損失を食い止め、回復軌道に乗せていくという重要な考え方であると認識しています。 そのため、その趣旨を踏まえた表現としてネイチャーポジティブ（自然再興）という言葉を追記し、施策の背景となる考え方として計画文中に反映します。	有	生物多様性の重要性が一層高まる中で、 <u>自然の損失を食い止め、自然環境を回復軌道に乗せていくネイチャーポジティブ（自然再興）の考え方</u> を踏まえ、絶滅危惧種、環境のバロメーターでもあるカブトガニおよびその生息環境や保護活動への理解促進を図る必要があります。	生涯学習課

パブリックコメントによる意見に対する対応一覧表

番号	ページ	項目名	意見の概要	担当部署の考え方	素案の修正の有無	修正する場合の修正後の文面	回答課
15	69	生涯学習環境の整備	「質問：市立図書館を利用しますか？」は3つ目の現状と課題に絡めてのものだと思うが、アンケート対象の小学生・中学生は学校の図書室利用もできるため市立図書館を使わないということもあると考える。障害のある方や大人を対象にしたものがあれば、そちらを掲載されることはと思う。	掲載している図書館利用に関するアンケートは、「笠岡市子ども読書活動推進計画」策定時に、小学生・中学生を対象として実施した調査結果です。現時点では障害のある方や大人を対象とした同様の調査を実施していないため、本計画では当該調査結果を参考資料として掲載しています。	無	—	生涯学習課
16	70	多様な生き方の尊重と理解促進	現状と課題の一番上の枠に「LGBTQ」「外国人」といったワードは入れなくて良いか。	外国人も含めて「様々な人権課題」という表記にしましたが、具体的に「在住外国人」という言葉を追記します。本市では、日本語の学習機会の提供や相互理解を深めるための教育・啓発など、在住外国人支援のための施策を推進しています。今後益々外国人の増加が見込まれるため、多文化共生社会の実現に向けて一層努めています。 また、「LGBTQ」につきましては、「LGBTQ」を含めたより大きな概念の「性的マイノリティ」という表記で、新たな人権課題の1つとして挙げています。多様な性に関する正しい知識を深め、差別や偏見を防ぐための教育・啓発を推進してまいります。	有	女性、こども、高齢者、障がい者、在住外国人など様々な人権課題について施策を推進しているが、デジタル技術の急速な発展など社会情勢の変化とともに、インターネット・SNS上での人権侵害、性的マイノリティへの偏見、各種ハラスメント等の新たな人権課題も顕在化しています。	人権推進課
17	72	楽しさや喜びにつながるスポーツの推進	子どもの新体力テストの結果が入っているが、大人に関するものも入れられると良いと思う。	文部科学省が定める新体力テストは、子どものみならず「20~64歳」「65~79歳」のものもあり、過去に本市で実施した実績もございます。しかしながら、参加人数は全体で多くても100人以下で、また、参加者層の年齢の偏りもあることから、結果を本計画指標として用いることは難しいかと考えております。したがって、この度の総合計画では、市内全校的に実施される子どもの結果のみを指標として用いたいと考えております。	無	—	スポーツ推進課